

第23回(2021年度)高エネルギー物理学奨励賞 (第16回(2022年)日本物理学会若手奨励賞) 推薦および応募のお知らせ

高エネルギー物理学研究者会議 事務局

hec-sec@jahep.org

2021年4月1日

第23回(2021年度)高エネルギー物理学奨励賞(第16回(2022年)日本物理学会若手奨励賞)の選考も兼ねる)の公募を行います。該当者の指導教員の方々および該当者の方々は、過去3年間の博士論文や投稿論文の中から推薦・応募をよろしくご検討ください。提出先は下記の2021年度(令和3年度)事務局です。なお、締め切りは6月25日です。

右記の要綱に基づき、下記の要領で「第23回 高エネルギー物理学奨励賞(第16回日本物理学会若手奨励賞)」の対象候補者と論文の推薦および応募の受け付けを行います。

一 記 一

1. 推薦・応募締切

2021年6月25日(金) 必着

2. 対象者および論文

2018年4月1日より2021年5月31日の間に公表された論文(要綱の脚注を参照)で公表時の対象者の年齢が35才以下であること。また日本物理学会会員であること。

3. 推薦・応募手続き

次頁の推薦・応募用紙(電子ファイルはhecforumで配布)に必要な事項を記入し、対象論文、推薦状(推薦の場合)、論文要旨(日本語100~200字程度)それぞれの電子ファイル(PDF形式)を提出のこと。対象論文は、CD、DVDまたはUSBメモリーに入れて送付するかアクセスできるURLを電子メールで提出すること。

4. 提出先

電子メール hec-sec@jahep.org
〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
東北大学ニュートリノ科学研究センター
高エネルギー物理学研究者会議事務局
奨励賞担当 渡辺 寛子
電話: 022-795-6727 FAX: 022-795-6728

5. 発表

2021年10月頃、hecforumにて発表。

高エネルギー物理学奨励賞 要綱

[1998年10月4日 総会にて議決]

[1999年3月29日 同好会名称変更]

[2010年9月12日 主旨の制定]

[2012年6月12日 受賞者数上限の変更]

[2016年9月22日 総会にて選考委員選出規定の改訂を承認]

[2017年5月20日 委員会にて発表時期但書の削除を承認]

高エネルギー物理学を担う優秀な若手研究者の研究を奨励するために本賞を設け、その研究者の優れた業績に対し本賞を授与する。

1. 対象分野は素粒子実験、但し実験に極めて重要な影響を与える近隣分野を含む。
2. 1年に1回の選考で各回3名まで、対象は過去3年間に発表された論文。
3. 公表時^{脚注}35才以下の若手による論文を対象とする。但し、学位論文を重視する。共同実験に基づく論文では、対象者の寄与が本質的である事。
4. 対象は、高エネルギー物理学研究者会議会員の推薦または応募とする。
5. 選考委員は、高エネルギー委員会で選出し、高エネルギー関係者3名、理論関係者、宇宙線関係者、加速器関係者、各1名とする。ただし、高エネルギー委員会の判断で、必要に応じて委員を加えることができるものとする。
6. 締め切りは6月末、選考は7月~9月の間に行い、10月頃に発表する。高エネルギー物理学研究者会議総会で授与式を行い、学会で特別講演を依頼する。
7. 賞金1件10万円を高エネルギー物理学研究者会議経費より支出する。

^{脚注} 博士論文は正式審査を通過した時点、他の論文は雑誌に掲載もしくはプレプリントが発行された時点とする。

高エネルギー物理学奨励賞 推薦・応募用紙

対象者

氏名 _____

所属 _____

(発表時と現在の所属が変わっている場合はその点も明記すること)

連絡先 住所 _____ 電話番号 _____

メールアドレス _____

日本物理学会会員番号 _____

生年月日 _____

対象論文

題名 _____

種類

博士論文(授与機関など _____)

プレプリント

雑誌 _____

公表日 _____

(博士論文の場合は正式審査を通過した時点)

対象者の寄与 (できるだけ明確に書く)